

■シンガポール：2019年に炭素税を導入へ

首相府（Prime Minister's Office）直轄の国家気候変動事務局（NCCS：National Climate Change Secretariat）は2017年2月28日、2030年までにGDP当たりの温室効果ガス（GHG）を2005年比36%削減するという目標を達成するため、2019年に炭素税（Carbon Tax）を導入すると発表した。それによると、年内に制度設計を終了し、2018年中に法律を整備するとしている。同局の試算によると、炭素税をCO₂ 1t当たり10 Sドル（約800円）にすると、電気料金は0.04 Sドル/kWh（約3.2円/kWh）上昇する。現在の平均電気料金は0.1768 Sドル/kWh（約14.2円/kWh）である。